

資料1

担当：教育部文化財保護課埋蔵文化財係 浅海莉絵 電話0279-52-2102

件名：「金井遺跡群と古墳時代の渋川」講演会の開催について

1 目的

平成24年11月、金井東裏遺跡の発掘調査で榛名山噴火の火砕流の犠牲になった「甲を着た古墳人」が発見されました。その後の調査でも、首飾りをした女性や古墳時代の建物跡、畠、馬の足跡などが確認され、古墳時代の景観が現在に蘇る、貴重な発見となりました。

渋川市では、この貴重な発見を市民に周知し、地域学習の一助とするために、平成25年度に「甲を着た古墳人」のレプリカを作製し巡回展示を行ってきましたが、この度、北群馬渋川振興局の補助を受けて、金井東裏遺跡発掘調査現場の景観再現ジオラマを作製しましたので、ジオラマの完成を記念して公開式典および講演会を行うものです。

会場は、榛名山二ツ岳、金井遺跡群、中筋遺跡、黒井峯遺跡等を展望台から一望することができる、北橋行政センターで行います。

2 要項

- (1) と き 平成30年2月3日（土）12時30分から15時30分まで
- (2) と ころ 渋川市埋蔵文化財センター（北橋行政センター内）
- (3) 参加費 無料
- (4) 定 員 80人（講演会のみ）
- (5) 事前申込 1月9日（火）から1月26日（金）まで

3 開催日程

- 12時30分 オープニング 【埋蔵文化財センター展示室前】
金井東裏遺跡ジオラマ公開式典
渋川市長、北群馬渋川振興局長
- 12時40分 ギャラリートーク 【展示室前・第1展示室】
ジオラマおよび金井遺跡群概要説明
講師：大木 紳一郎 氏（公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団職員）
- 13時20分 映像上映 【活用室】
『よみがえれ！古墳人 金井東裏遺跡-その暮らしと災害の記憶-』
（約20分）
- 13時45分 講演『金井遺跡群と古墳時代の渋川』
講師：右島 和夫 氏（群馬県立歴史博物館館長）
（公演1時間30分・質疑15分）
- 15時30分 終了

4 展示内容

1) 展示室前

金井東裏遺跡ジオラマ、古墳人レプリカと関係資料（写真パネル等）を展示します。

2) 第1展示室

群馬県立歴史博物館より古墳人復顔像、甲及び冑復元品を、公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団より鹿角製小札復元模型を借用し展示します。

群馬県立歴史博物館より借用した資料は、平成30年3月31日までの期間展示しますが、鹿角製小札復元模型は当日のみの展示となります。

3) 第2・第3展示室

中筋遺跡、金井古墳、黒井峯遺跡等の出土資料の他、赤城歴史資料館から津久田甲子塚出土馬形埴輪・鶏形埴輪を移動展示します。

5 展望解説

北橋行政センターの展望台で展望解説を行います。

展望台窓に榛名山ニツ岳、金井遺跡群、中筋遺跡、黒井峯遺跡等の遺跡の位置を表示し解説します。

6 主 催

渋川市教育委員会

7 協力機関

群馬県、北群馬渋川振興局

群馬県立歴史博物館

公益財団法人埋蔵文化財調査事業団